

# 回 覧

## たかくまだより

R7.11.20 第17号 高塚熊野神社



公式  
インスタ



公式  
HP



公式  
X



ヤタカラ君

## 今月の ON AIR

FMHaro!  
「たかくまだより」

10月23日放送のFM Haro!「たかくまだより」、主なテーマは「七五三」でした。谷本アナが抱く由縁や意味合いなどの疑問に対し、戸塚昌宏宮司が丁寧に解説されました。



第4木曜17:35～  
第16回放送

## 社殿改修事業実行委員長が語る 事業への思いと ご奉賛のお願い



社殿改修事業  
実行委員会 会長  
須山 久仁茂

私が子供の頃の高塚熊野神社は、遊びの場であり、おやつ（椎の実）を確保できる場所ではありませんでした。しかしそれから70年を経て、JR高塚駅の前に北参道が造られ、駅北の方たちが参拝しやすくなりました。また近年、東南海地震の危険信号が上向いていますから、有事の際の避難場所としても神社の有用性が高まりました。戸塚宮司が当神社に勤められた結果でしょう。

特に「令和6年能登半島地震」の直後、瓦屋根の重みによる神社の倒壊写真が報道されました。この衝撃的な光景を見せられて当神社の現状を顧みると、瓦葺きの拝殿・覆殿の耐震性に対して、誰もが「他人事ではない」と考え

させられる状況です。そこで急ぎ拝殿・覆殿の耐震工事を計画し、そのための奉賛金を多くの方に募りたい、ということになりました。神社は皆さんの憩いの場であり精神的な拠り所です。そんな場を、災害によって失ってしまうことのないよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。



## お宮の四事 神社の門松の祖の姿



そろそろ年末。皆さんの家では門松を飾りますか？  
これまでお宮では、ちょっと派手目な関西風の門松を作

ってきました。しかしそれは一般の民家の作法であり、神社の門松の「祖の形態」は、鳥居の両脇に松の枝を打ち付ける簡素なもの。

高塚熊野神社でも15年ほど前は写真上・右の通りのものでした。

来年の神社の門松は、祖の姿で飾りますので楽しみに。



## トピックス

## 四季の祓の会 開催

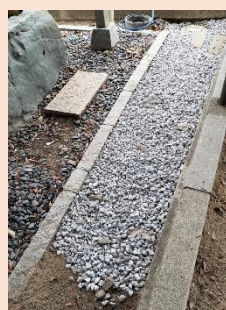


10月25日(土)、第50回目の「四季の祓の会」が催されました。

憲政史上初となる女性総理大臣誕生の話題から、直近で女性が日本のトップに就いた例は尼将軍と称された北条政子で、およそ800年振り。戸塚宮司の講話では、そんな大きな転換の時代に我々はどう生きるべきか、が語られました。また、次回開催は年明けの1月。令和8年は「丙午」の年であり、どのような年になるかが次回のテーマとなるそうです。

※次回「四季の祓の会」は1月24日(土)夜6時から。参加無料・予約不要。

## 総代さんの神社護持活動



手水舎は自然排水なので、月日が経つと水捌けが悪くなりがちです。そこでこの秋、総代さんたちが、水たまりがしやすい場所に砂利を敷いてくれました。様々な人による神社への奉仕により、参拝しやすい環境が保たれています。

※裏面：特集記事「戦後80年 静岡県護國神社で臨時奉幣祭」



# 戦後80年 静岡県護国神社で臨時奉幣祭

たかくまだより  
特集記事

J R東静岡駅から北西にわずか徒歩10分、自然豊かな樹林を背景とし、10万余㎡という広大な境内地のなかに『静岡県護国神社』が鎮座しています。

創建は明治32年。歴史的には新しい神社で、明治維新から太平洋戦争にかけて戦歿された静岡県出身の方々の御霊76,200余柱が祀られています。

毎年10月22日と23日は多くの神社と同様、一年の中で一番重要な「例祭」が斎行されます。一般的な神社なら、例祭では地域の繁栄や五穀豊穡などが祈願されるところですが、静岡県護国神社はご祭神が御霊なので、例祭は「慰霊大祭」です。

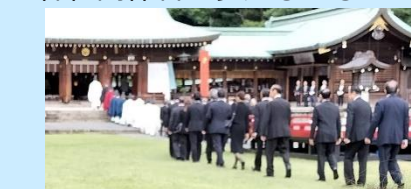
さて、今年は戦後80年という節目の年に当たり、例祭は「臨時大祭」とし、さらに天皇陛下より「幣帛料」を賜る（勅命により幣帛を奉献することを「奉幣」という）こととなり「大東亜戦争終結八十年臨時奉幣祭」として斎行されることになりました。



天皇陛下からの「幣帛料」は、菊の御紋で飾られた「唐櫃」に納められ、厳かに神殿へ運ばれます。

静岡県神社庁からこの臨時奉幣祭への参列を勧奨されまして、10月23日(木)、高塚熊野神社からは総代ら9名が参加しました。

当日の参道には県下の神社の宮司、県選出の国・地方議員、市町長、遺族会代表らが幣殿を目指して長い行列をなし、その両脇のテント内には数百名の県内市町の遺族会と、同数以上の神社関係者が参列しました。



幣殿に上がる参列員の長い行列を先導したのが、常葉学園大のプラスバンド。その先頭を歩いたのが、高塚熊野神社 権禰宜の戸塚典永氏。

## 護国神社って何？

護国神社とは明治維新の後、戦役で殉難した人々の霊をお祀りするために、全国各地に創建された神社の総称で、昭和以降も大きな戦争で亡くなった人々の霊を含めてお祀りしています。

特徴的なのが、ご祭神が一般的な神社のように神話に登場するような神々と異なり、戦歿者あるいは公務殉職者の方々の霊である、という点です。

県内では静岡市の静岡県護国神社が有名ですが、浜松市内にも三ヶ日町の三ヶ日護国神社（金刀比羅神社）や、金折町の護国神社（芳霊神社）などが鎮座しています。

## 大東亜戦争って何？

1941年に大日本帝国が米英との戦争を始めたとき、政府は「この戦争を、以前からの支那事変（日中戦争）をも含めて【大東亜戦争】と呼称する」と決めました。

戦後、GHQが大東亜戦争という呼称の使用を禁じたため、代わりの言葉として【太平洋戦争】という呼称が使われるようになって、今日に至っています。



幣殿で玉串拝礼が行われるなか、参道の特設ステージでは神楽舞が奉納されます。



境内のなかにある「遺品館」。数々の遺品や肉筆の遺言状が並び、胸が熱くなります。

戦歿者のご遺族や戦友の方々の高齢化と減少から、各地の護国神社の財政面が危惧されています。しかもっと根深い問題は、いま私たちがなぜ平和な生活を営んでいられるのか、ともすればそこに戦没者の方々の存在やご遺徳があることが忘れ去られ、感謝の心が薄らぎつつある現状ではないでしょうか。

戦後80年の今年、何かの折にご家庭内での話題に上る機会を持っていただければ、神社関係者としてありがたく思う次第です。